

ワード・エクセル例会

藤本健二

今期途中からエクセルも兼ねる例会となりましたが、ほとんどワードで終始しました。エクセルに関して必要のある方は何でも相談の例会に行かれたようです。

さて、ワードでは基本的な文字入力等は入会された方々もほとんど問題なく操作されましたので装飾やページ設定を手始めにいろいろな機能を学びました。以下にワードの基本図形を中心に、学んできた操作をいくつかご説明しておきたいと思います。ここでは、基本 OS が XP の標準ワード 2003 とビスタのそれであるワード 2007 とで進めて行きます。

○○○○○○

このページのタイトルは、まず「オートシェープ」の「基本図形」から「角丸 4 角形」を選び所定の所に描きます。ビスタでは最初に「挿入」タブを選び、「図形」から「角丸 4 角形」を選び所定の所に描きます。例会場所の PC はワード 2003 を使いますので、ご自宅でビスタの 2007 をご使用の場合に、まず「挿入」タブから「図形」に入る必要があります。これを知ることが先決なのですが、なかなか

馴染めないのも事実です。

タイトル枠に影を付けました。「影付きスタイル」から「影スタイル 6」を選び決定します。ビスタでは先ず「書式」を選択する必要がありますが、その前に図形を選択しておかねば「書式」タブが現れません。実に不便ですが慣れる事が大切です。操作する図形を最初に選択して書く準備をしておく必要があるのです。

□□□□□□

図形の中に文字を挿入するためにはやはり図形を選択しておいてからカーソルを枠に置いて矢印左右上下のマークを出しておいて右クリックします。そして「テキストの追加」を選ぶとテキストボックスが図形の中に生じ文字を書き入れる事ができます。2003 も 2007 も同じ操作です。



図形の中に点の装飾を入れました。図形である角丸 4 角形を選択しておいてから「塗りつぶしの色」の右にある下三角をクリックして「塗りつぶし効果」、次に「パターン」に移り柄を選びました。ビスタでは「書式」タブから「図形の塗りつぶし」を選び、「パターン」から柄を選びます。

バージョンにより上の様に操作が異なります。ゆっくりと頑張りましょう。